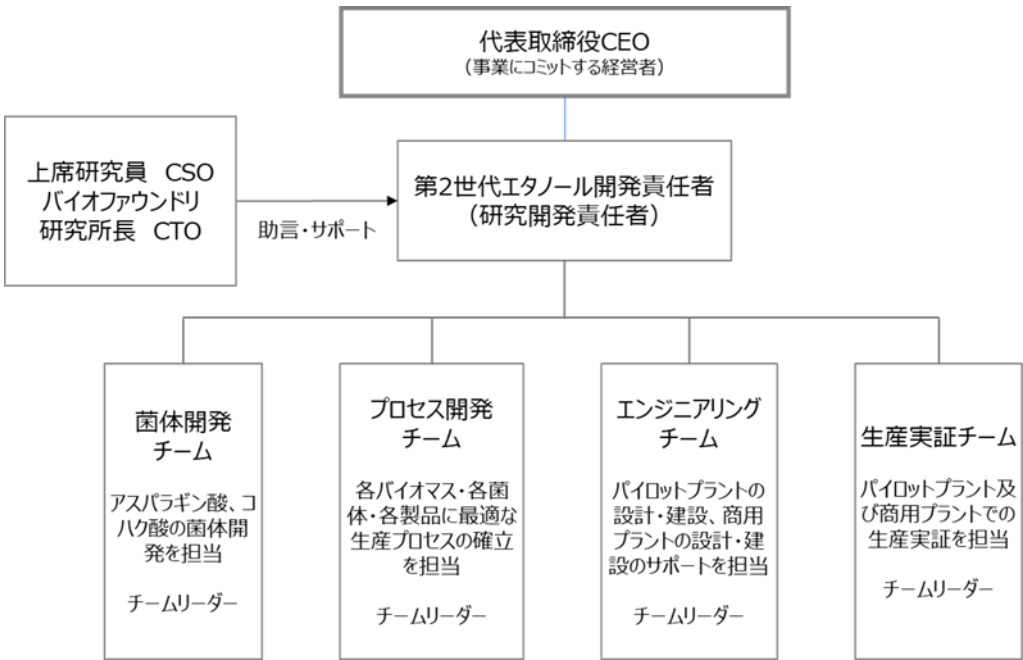


マネジメントシート

プロジェクト名：製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証
実施者名：Green Earth Institute 株式会社

イノベーション推進体制

- (1) 組織内の事業推進体制
- (a) 組織内体制図



- (b) 組織内の役割分担
 - 研究開発責任者と担当部署
 - 研究開発責任者：CRMO 西窪 伸之

(2) 経営者等の事業への関与の方針

- (a) 経営者等による具体的な施策・活動方針

経営者・経営陣のリーダーシップ

- ・ 当社のミッション「グリーンテクノロジーを育み、地球と共に歩む」の達成のためのコア事業として位置づける
- ・ 代表取締役CEOの下で、研究開発責任者が、CSO、CTOの協力を得て、進捗確認会議を主宰する

- (b) 事業の継続性確保の取組

- ・ 本プロジェクト及びその成果である木質バイオマスを原料とするバイオリファイナリーのテクノロジーパッケージの事業は、当社のコア事業となる予定であり、経営層が交代する場合であっても、本事業はコア事業として後継の経営層に引き継がれる

(3) 経営戦略における事業の位置づけ

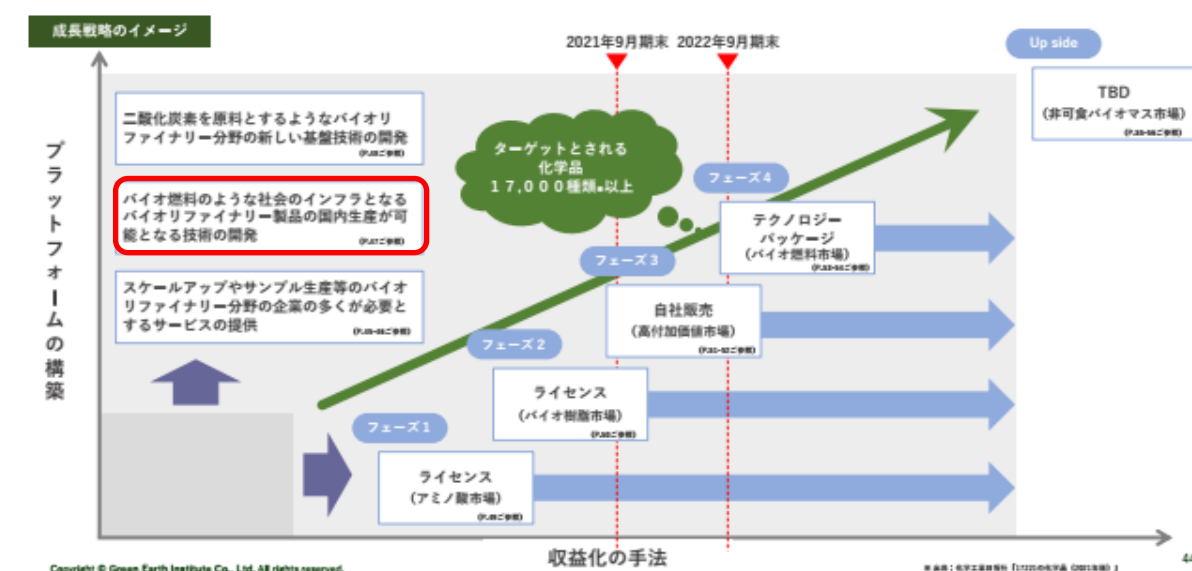
(a) 取締役会等コーポレート・ガバナンスとの関係

<カーボンニュートラルに向けた全社戦略>

- ・ GEIはバイオリファイナリー分野の専門企業としてカーボンニュートラルは大部分の事業が当然に目指している姿

<経営戦略への位置づけ、事業戦略・事業計画の決議・変更>

- ・ GEIのミッション「グリーンテクノロジーを育み、地球と共に歩む」が、カーボンニュートラルの実現に向けてのコミットメントを示しており、当該ミッションは社内外に周知済み
- ・ GEIの事業戦略の中で、本事業は注力分野の1つである「バイオ燃料のような社会のインフラとなるバイオリファイナリー製品の国内生産が可能となる技術の開発」と位置付けられる



GEIの「事業計画及び成長可能性に関する資料（2022年12月23日）」から抜粋

(b) ステークホルダーとの対話、情報開示

<中長期的な企業価値向上に関する情報開示>

- ・ バイオリファイナリー専門企業として、価値協創ガイダンスが志向している社会のサステナビリティ（持続可能な社会に対する要請への対応）と企業のサステナビリティ（企業が長期的かつ持続的に成長原資を生み出す力（稼ぐ力）の維持・強化）は一致しており、対外的な報告書の中で、それらを示していく

<ステークホルダーとの対話>

- ・ 毎四半期実施している機関投資家との対話や投資家説明会の中で、本事業の内容と意義、GEIに

とっての価値を説明

(c) 企業価値に関する指標との関連性

- ・ GEIの現在のKPIは売上高としている。株主・投資家のGEIに対する期待は事業の拡大にあると認識しており、まずは売上高をKPIとしている

(4) 事業推進体制の確保

(a) 経営資源の投入方針

<全社事業ポートフォリオにおける本事業への人材・設備・資金の投入方針>

- ・ 本事業は、GEIの事業の柱である、菌体開発、プロセス開発、スケールアップ全てが関わる事業であることから、現在の人員を中心にチームを構成しつつ、新規メンバーの採用も予定

<機動的な経営資源投入、実施体制の柔軟性確保>

- ・ 本事業は、長期間であること、事業化の実現が重要であることから、ターゲット製品の市場の状況、研究開発の進捗や環境変化を踏まえ、体制や開発手法等の見直しを、迅速かつ柔軟に実施していく

(b) 専門部署の設置と人材育成

<チームの強化>

- ・ 第2世代エタノールを開発しているチームのメンバーを拡充し、これまでの知見を活かしつつ、新しい人材を投入し、チームの強化を図る

<人材育成>

- ・ 本事業が比較的長い期間にわたるものであり、この事業を通じて、経験者から若手や新人への知見の移管を進めることを目指す
- ・ GEI は研究開発型ベンチャーとして、ファブレスを基本としており、研究開発の人的資源が最大の資産であり、本事業の活動を通じた成長を通じて人的資源経営の実現につなげる。